令和 8 年度「県内企業インターンシップ構築・実践モデル創出事業」

第 2 回 インターンシップ構築ワークショップ 参加企業 募集要項

1. 開催の趣旨

学生の就職活動は、インターンシップを起点に動くようになりました。公開されている全国調査によれば、2027 年卒の学生のうち 87.1%が何らかのキャリア形成活動に参加しており、5 日間以上のインターンシップに限っても 27.7%が参加しています。入社予定先への志望度が最も高まったタイミングを尋ねた調査では、「インターンシップ（5 日間以上）」が 20.6%で最も多い回答となりました（※）。

学生は、参加した企業のなかから就職先を絞り込んでいきます。受け入れの機会を設けていない企業は、学生に知られる前の段階で候補から外れていることになります。人材の確保が年々難しくなるなかで、この差は開いていきます。

一方で、県内企業の皆さまからは「実施したいが方法が分からない」「何を体験させればよいか決められない」といった声を多くいただいております。

本ワークショップは、インターンシップをこれから実施しようとする県内企業、およびすでに実施しているが実施方法に課題を感じている県内企業を対象に、1 日で自社のインターンシッププログラム案を作り上げていただくことを目的として開催します。作成した案は、終了後 2 か月間のアフターフォローで完成まで支援します。今回の第 2 回は、今年度最後の開催となります。

令和 8 年 10 月 8 日に開催した第 1 回では、参加企業 9 社のうち 6 社が、参加前は「5 日間のインターンシップを自社で実施するイメージがあまりない」と回答していましたが、参加後は 9 社すべてが「実施のイメージを持てた」と回答しました（うち 4 社は「具体的にある」）。また、9 社すべてが「満足」以上と回答しています（第 1 回参加企業 9 社・当日アンケートより）。

あわせて本事業は、参加企業の取組をその 1 社にとどめず、県内企業へ広く行き渡らせることを目的としています。ワークショップを通じて作られたプログラムと、その設計・実施の過程は、モデルプログラム（事例集）として取りまとめ、令和 9 年 3 月の事例共有会および県内企業への情報発信により共有します。皆さまの取組が、次にインターンシップに取り組む県内企業の手がかりとなります。

※ 参加率および志望度に関する数値は、株式会社マイナビ「2027 年卒 大学生キャリア意向調査（中間総括）」（令和 7 年 10 月）および「同 3 月」（令和 8 年 4 月）による。

2. 対象

- 佐賀県内に事業所を有する企業
- 大学生向けインターンシップ（5 日間）をこれから実施しようとする企業、または実施方法に課題を感じている企業
- 当日、自社のインターンシップについて検討・判断できる立場の方（経営者、人事・採用のご担当者、学生を受け入れる部署の責任者など）がご参加いただける企業
- ワークショップ当日に作成したプログラム案を、社内に持ち帰って検討を進めていただける企業

※ 現時点でインターンシップの実施が確定している必要はありません。「関心はあるが、自社でできるか不安がある」という段階からのご参加を歓迎します。当日は自社のプログラム案を作成いただきますので、社内で検討を進める役割を担う方のご参加をお願いします。

※ 第 1 回（令和 8 年 10 月 8 日開催）と同じ内容です。第 1 回にご参加いただいた企業も、お申込みいただけます。

3. 開催概要

日時	令和 9 年 1 月 14 日（木）10:00～16:00
会場	佐賀市内の会議室（お申込みいただいた方へ別途ご案内します）
定員	10 社程度（1 社につき 1～2 名まで。社内で検討を進めやすいよう、2 名でのご参加をおすすめします）
参加費	無料
主催	佐賀県産業人材確保プロジェクト推進会議（事務局：佐賀県産業労働部産業人材課）
運営	ポート株式会社（企画・運営業務受託者）

4. プログラム（6 時間）

No.	大項目	中項目	所要時間	取り上げること

1	なぜ取り組むのか	インターンシップの必要性	20 分	売り手市場と採用の早期化により、早期の接点の有無が採用を左右する状況。全国の学生データから、学生が企業のどこを見ているかを確認します。
2	プログラムを作る	インターンシップを作る前に	20 分	自社ならではの魅力（企業らしさ）を学生に伝える必要性。企業らしさとは理念などの上位概念であり、他社と異なる部分であること。分析方法を事例で説明します。
3	プログラムを作る	自社らしさ検討ワークショップ	40 分	採用で競合となる企業や同業界のトップ企業との比較により、自社らしさを言語化します。
4	見せ方を設計する	業務の可視化	20 分	学生は「企画」「営業」「技術」といった職種の言葉で企業を探します。自社の業務をその言葉に置き換えないと、候補に入りません。自社らしさを踏まえ、なぜその業務があるのかとあわせて置き換える考え方を扱います。
—	昼休憩	※このほか休憩の取得も想定	60 分	—
5	見せ方を設計する	業務の可視化ワークショップ	40 分	自社の業務を、学生が使う職種名に対応づけ、募集で打ち出す内容を決めます。
6	受け入れを固める	インターンシップの作り方	30 分	5 日間以上・就業体験が半分以上という要件と、オープン・カンパニーやキャリア教育との違い。実施目的・実施目標・対象学生像・実施内容・就業体験の内容・実施スケジュール・実施体制の 7 項目。中小企業の 5 日間の設計例。
7	プログラムを作る	インターンシップ設計ワークショップ	100 分	ここまでのワークの成果をもとに、当日お配りする様式に沿って、自社のプログラム案を記入します。この時間内に、各社への個別相談も行います。
8	受け入れを固める	インターンシップで注意すべき点	30 分	労災と保険、賃金・報酬の線引き、秘密保持と誓約書、個人情報の取扱い。担当者の決め方、複数社員の

				関与、安全衛生。学生とのコミュニケーション。陥りやすい失敗と集客方法。質疑応答。

※ 上記のほか、昼休憩 60 分を含みます。昼食は各自でご用意ください。所要時間は当日の進行により変動します。

5. 参加企業が持ち帰るもの

- **自社らしさ整理シート**　他社ではなく自社だからこそ言える魅力を整理したシートです。採用で競合する企業との比較から、学生に伝えるべき自社の強みが言葉になります。
- **業務の棚卸・職種対応表**　部署ごとの業務を洗い出し、学生に伝わる職種の言葉（企画、営業、技術など）に置き換えた一覧です。学生に体験してもらう仕事選びにも、求人票や説明会にもお使いいただけます。
- **インターンシップ設計書**　何のために実施するのか、どんな学生に来てほしいか、何日間でどの仕事を体験してもらうか、社内の誰が担当するかを 1 枚に整理したものです。社内での説明や上長へのご相談に、そのままお使いいただけます。

このほか、記入例つきの記入前の様式一式をお渡しします。翌年度以降、自社で計画を作り直す際にご利用いただけます。

6. ワークショップ後のアフターフォロー

ワークショップ終了後 2 か月間（令和 9 年 3 月中旬まで）、インターンシップの構築を進めるなかで生じた疑問やお困りごとに、3 つの方法でお答えします。来場いただく必要はありません。設計書を完成させ、実施時期を決めるところまでご支援します。

方法	内容
個別相談（30 分・オンライン）	当社のコンサルタントが、自社のプログラムについて個別にご相談をお受けします。日程は個別に調整します。
オンライン定例相談会	フォロー期間中に月 1 回・計 2 回（令和 9 年 2 月・3 月）。グループ形式で行い、他社の質問も参考にしていただけます。ご参加は自由です。欠席された回は記録をお送りします。
職種対応表の添削	期間中いつでも、メールでお送りください。回数の制限はありません。

7. 事前のご準備

事前のご準備は不要です。当日は筆記用具のみお持ちください。使用する様式はすべて当日お配りします。

8. お申込み

申込方法	下記の申込フォームにてお申込みください。
申込フォーム	https://forms.gle/mMAuGbjDTgP3jF6N9
申込締切	令和 9 年 1 月 6 日（水）
記入事項（ヒアリング含む）	企業名／所在地 ご参加者のお名前・ご所属・ご連絡先 本ワークショップへのご参加についての社内のご了承の状況 5 日間のインターンシップの実施経験の有無 オープン・カンパニー等（1 日～4 日間）の実施経験の有無 第 1 回ワークショップへの参加の有無 現在お困りのこと

お申込み多数の場合はご記入いただいた内容をもとに選考のうえ、参加企業を決定します。先着順ではありません。社内のご了承の状況は参考として伺うものであり、これから社内で共有される段階のお申込みも歓迎します。選考の結果および会場の詳細案内は、令和 9 年 1 月 8 日（金）までにご連絡いたします。

9. ご留意事項

- 終了時に、アンケートへのご協力をお願いします。
- 第 1 項のとおり、本事業の成果はモデルプログラム（事例集）として取りまとめ、県内企業へ広く共有します。掲載にあたっては、事前に企業の同意をいただきます。
- ご記入いただいた個人情報は、本事業の運営の目的にのみ使用し、適切に管理します。

10. お問合せ先

ポート株式会社　就職支援事業部　コンサルティング Div

担当：宇田｜平日 9:30～18:00　TEL：070-7796-0535　E-mail：admin_consulting@theport.jp

以上